



高橋かつお ニュースレター

(第31号)

《連絡先》 栗原市栗駒稲屋敷金田10-2 TEL/FAX. 0228-45-4249

社会新報

発行所

社会民主党全国連合機関紙宣伝局
号外 (水曜日発行)

〒100-8909 東京都千代田区永田町1-8-1
電話代表03(3592)7515・振替00140・1・3203
●定価180円 ●1カ月700円 ●送料160円

新年明けましておめでとうございます。

皆様のご支援により 栗原市議会に送り出して頂いてから、早や2期8年が経とうとしております。

市民の方々のお陰様により、議会では皆さんから頂いたご意見を生かし、市の見解を求め議案のチェック提言を行う事ができました。市民の皆様方に心から感謝と御礼を申し上げます。

今年の4月16日告示・23日投票で、市長と市議会議員の選挙が行われます。この2期8年間の経験を活かし、「生かします、あなたの声を市政に」「流した汗がむくわれる政治の確立」を基本に、引き続き頑張ります。

宜しくお願い申し上げます。



高橋かつおプロフィール

<主な経歴>

| | |
|-------------|-------------------|
| 昭和32年 9月27日 | 栗駒稲屋敷に生まれる(59歳) |
| 昭和51年 3月 | 宮城県滝沢工業高校電気科卒業 |
| 昭和51年 4月 | 栗原電鉄株式会社勤務 |
| 平成15年 4月 | 宮城県滝沢工業高校PTA会長 |
| 平成17年11月 | 連合仙北地域協議会議長 |
| 平成19年 4月 | (財)東北電気保安協会勤務 |
| 平成20年 7月 | 宮城交通労働組合書記局勤務 |
| 平成21年 4月 | 栗原市議会議員初当選(現在2期目) |

<現職>

- 市議会産業建設常任委員会委員
- 市議会指定廃棄物処分場問題副委員長
- 岩ヶ崎高等学校同窓会副会長
- 社民党栗原市総支部副代表

12月定例議会(12月6日~20日)・・・19名が一般質問

人事院勧告による給与改定及び人事異動に伴う人件費の増額、国庫補助金の減額による道路維持費等の見直しなど、平成28年度一般会計補正予算等の予算議案10件、第2次栗原市総合計画基本構想策定他、農業委員会の委員及び農地利用最適化推進委員の定数を定める条例などの条例改正議案等18件、くりはら交流プラザやハイルザーム栗駒、若柳総合体育館などの指定管理者の指定5件、ソフトボール大会中に、ファールボールが駐車中の車にあたる事故の和解及び損害賠償の額の決定2件、人権擁護委員の推薦2件(三塚優様・築館) (佐藤裕子様・金成)、その他1件(字名の変更)につい

て審議が行われ原案のとおり可決しましたが、汚染牧草の堆肥化事業の基本計画策定費については、「堆肥の処理方法が明らかになっていない中で、実施にかじを切るのは時期尚早」という事から予算組み替え動議が出され、13対12で修正案が可決されました。

また、議会最終日に、追加案件として、瀬峰地区幼保一体施設工事の請負契約、築館インター工業団地は㈱イノアックコーポレーション、若柳金成インター工業団地はミヤマ工業㈱に各々売却する案件など6案件が提案され審議の結果、原案と可決しました。

12月補正の主な事業は次の通りです。

- ◎ 非常勤・臨時職員賃金改定 219万円
- ◎ 急傾斜地対策事業費の追加(栗駒蛇壇他) 995万円
- ◎ 臨時福祉交付金の追加 2億4,457万円

- ◎ 築館多目的競技場整備費の追加 2,507万円
- ◎ くりでん資料館準備経費の追加 123万円

「土人」と「バイ菌」と。

by アオニサイ

妻 今どき「土人」だと、人バカにした〜。

夫 うん、オレ達の頭の中には「土人」という言葉はなかったからビックリだもな〜。

夫 沖縄で米軍の北部訓練場のヘリパット移設工事での事。抗議活動をしていた市民に対して、大阪府警から派遣された隊員二人が「どつつかんどるんや。ぼけ。土人が」とののしかったというもの。

妻 私ねさっそく調べたの ▲昭和9年発行の漢和辞典には「昔より其の土地に住居せる人及びその子孫」とあったから、私達みたいに代々栗原に生まれ育った者は皆んな土人という事になるよね。

▲しかし昭和27年発行の明解国語辞典には①土着の人②原始的生活をする土着の人種とあったから、今日的にはジャングルの奥地で近代文明の恩恵を受けない未開の人種をさして言う言葉になると思うの〜。だから二人の警官がなんと弁解しようとして②を念頭に言ったことになるのよね。

夫 これに対して沖縄の人が怒るのはあたりまえだし翁長知事が抗議して当然さ。

妻 おかしいと思うのは、菅官房長官が「発言は許すまじきこと」と述べ、金田法相が「土人は差別用語にあたる」と言ったのに、鶴保沖縄北方担当大臣は「土人」は差別と断定できないと居なおったというではない〜。あきれてしまうよね。この沖縄担当大臣。

夫 ところで福島原発事故で横浜に避難した子どもが、「バイ菌」手ばかりされて不登校になり「今まで何回も死のうと思った」と手紙に書いていたというではない〜。

妻 しかも「賠償金もらってるんだらう」と150万もの大金をゆすられたと言っていたよな。なんと心ない子ども達なんだらうね。一体学校の先生達の目は節穴なのかね〜。

夫 「土人」も「バイ菌」発言も根は同じなんだよな。人を差別して快感を味わう心理は許せないよな〜。

私は市民からの要望・意見をふまえ以下の点について質問しました

質問

汚染稲わらも、栗原市で焼却処分するの！(栗駒 Tさん)



再質問

①県が進めようとしている焼却処分の対象物3万6,000トンには、牧草等の他に、栗原市内5箇所
で保管されている汚染稲わらも含まれているが、汚染稲わらは混焼の対象物から除くべきであ
る。国、東京電力の責任はどうなっているのか、憤りを感じるが、市長の見解は。

市長の考えと11月3日の県から提案には大きな違いがある。なぜその時に反論をしなかったのか。

②生活ごみ等との混焼は、県が以前から提案している事であり、栗原市はクリーンセンターの焼
却能力や地域の方々からの理解を得られないという事で、堆肥化を検討してきている。焼却に
対する栗原市の態度は如何に。

③堆肥化の実証実験に対する評価と課題、本格処理についての考えは。

再質問

製造された汚染堆肥の利活用が進むのかどうかが一番の問題である。考えはあるのか。

再々質問

市長からは、特定の場所、特定の地域で処理するという回答だが、それは、市長の思いであって、関係
する地域の方々の理解と協力がなければ処理は進まない問題である。理解をもらう事が先決では。

④植物へのセシウム移行調査で使用された土壌(40ベクレル)より、市内の土壌の方がセシウム
濃度は高い(H27年度調査・最高535ベクレル)汚染堆肥の散布により、セシウム濃度は高く
なるのではないかと。堆肥化による減容を行い、隔離して保管するという事も必要ではないか。

答弁



再答弁

①今回の処理方針案では、未指定の汚染稲わらの内、再測定の結果8,000ベクレルを下回ったも
のを処理対象にしているが、指定、未指定関係なく指定廃棄物同様の扱いにすべきである。

未指定、指定関係なく、保管をした当時の数字で対応すべきとってきているので、次回の会議
で、必ず申し上げる。

②市民説明会での意見や学者の考えも聞かせていただいた。更なるご意見をお伺いし、最終的
に態度を決定する。

③京都大学の松井名誉教授から、安全で確実な処理方法であると高い評価を頂いたので、製造
堆肥の利活用も含め、本格処理に向け検討する。

再答弁

堆肥をどういう形で土に戻すのかが、最大の課題。特定の場所あるいは特定の地域で処理される
ものと考えている。

再々答弁

市民への説明責任はあるので、計画作成と同時に進めていく。

④隔離保管については、最終処分場同様にどこにどのように保管・管理するかについて住民の
理解が難しい。

質問

空き家対策特別措置法から1年半、栗原市の現状は！(栗駒のHさん)

答弁

平成28年3月31日現在、市内の空き家は1,743件(前年度対比4件減)このうち危険
度が高いと判断された空き家は135件(前年比10件減)相続人不明及び相続放棄等によ
って固定資産税等が滞納になっている空き家は10件(前年同数)となっている。適切に管
理が行われていない空き家に対しては、所有者などに対し改善を求めている。

具体例としては、金成地区で「特定空家等」に認定し、市から除却等の勧告措置を行い、所
有者による解体作業が実施されている。

しかし、空き家の多くは、維持管理、解体費用などの負担のほか、未相続や相続放棄、所有
者不明など多くの課題がある。市では「栗原市空家等対策基本方針」を定め、今後は、国の法
に基づき「栗原市空家等対策計画」を策定し、空き家対策を進める。

①一般会計補正予算に、非常勤一般職員及び臨時
職員の賃金改定分として219万円が計上された。
人事院勧告により、市職員の賃金が引き上げら
れた事から、非常勤職員(240名)は月額で1400
~1500円、臨時職員(280名)は時給10円各々
引き上げられる。実施は平成29年1月1日から。



②栗原市保育所及び幼稚園の任期付職員の採用に
関する条例制定。
1月に募集を行い、2月に採用試験、3月上旬に
合格発表、4月1日採用を予定している。定員は
10名程度。

◎皆様からのご意見やご要望、疑問、提言、苦言などをお待ちしております。

お名前

ご住所

電話

F A X

市政への思いをTEL/FAXでお寄せください (TEL/FAX 0228-45-4249まで)